

南木曾町リニア対策協議会開催される

— JR東海からの報告（事後調査計画及び、非常口付近の復元測量、ボーリング調査） —

第17回リニア対策協議会が9月16日に開催され、JR東海から水の後調査計画、非常口付近の復元測量、ボーリング調査について説明がありました。事後調査とは環境影響評価の予測の不確実性が大きい項目及び環境保全措置の効果に係る知見が不十分な項目について、環境影響評価後に実施する調査のことで、南木曾町では水資源に係る調査のみ実施することとされ、今回その実施計画が協議会に対して示されました。



事後調査を実施する吾妻地区の方に対して事後調査計画の内容を説明し、ご意見をいただきます。その後、10月中旬の長野県環境影響評価技術委員会の審議を経て調査を開始する。

非常口付近のボーリング調査・復元測量について

・トンネル工事完了後：
3年間4季

〔調査地点〕

平成27年に実施した吾妻地区への水の利用状況等の聞き取り調査結果をもとに調査地点を選定した。

事後調査地点

- ・地下水 4地点
- ・地表水 7地点

〔調査時期及び頻度〕

- ・トンネル工事前の1年間：
月1回
- ・トンネル工事中：月1回

〔調査項目〕

地下水の水位又は湧水の水
量、地表水の流量、水温、pH、電気伝導率、透視度

〔その他の調査〕

その他、事後調査とは別に工事中に環境管理を適切に行うことを目的に、事業者の自主的な取り組みとして、工事期間中水資源に係るモニタリングを南木曾町内の約50地点で実施する。

〔今後のスケジュール〕

（蘭・広瀬地区には
9月に回覧済）

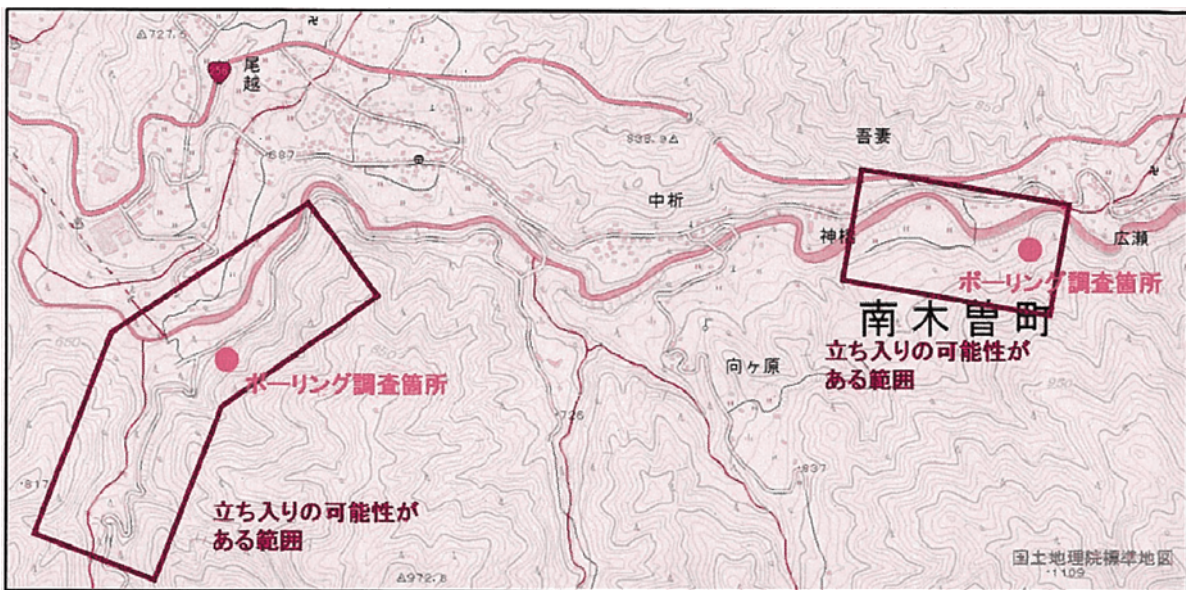
〔調査時期〕

平成28年10月～平成29年春
（予定）

〔調査内容〕

- ①ボーリング調査：
鉛直ボーリング、原位置試験
- ②復元測量：
現地踏査、境界杭の確認、境界杭の設置・測量

〔調査場所〕



お問い合わせ先 もっと元気に戦略室 元気なまちづくり係 ☎0264-57-2001